

まちにとびだせ!

東大阪 いっとこMAP



東大阪市
マスコットキャラクター
トライくん

生駒山西麓 里山コース (枚岡 - 石切)

生駒山の麓をめぐる里山コースは、物部氏や中臣氏ゆかりの神社や、松尾芭蕉が最後の旅で歩いた暗越奈良街道、井原西鶴や鳥山石燕の作品の舞台も登場します。それらの歴史を包む、豊かな渓谷などの自然が、まち歩きをする私たちの目を楽しませてくれるでしょう。



①枚岡神社

中臣・藤原氏の祖神を祀り、元春日とも呼ばれるように、春日社はここから分霊されています。また、河内一ノ宮としても尊敬されてきました。毎年10月14日・15日には秋郷祭があり、ふとん太鼓と呼ばれる約2トンの大太鼓台を使って、宮入します。12月23日に行われる注連縄掛神事(お笑い神事)は宮司の先導で20分間大笑いします。天の岩戸を開く古事にまつわる神事です。この神社では、狛犬の代わりに鹿が鎮座しています。生駒の山の鹿が、奈良に連れて行かれたといわれます。

②枚岡梅林

明治14年(1881)、枚岡神社の神宮寺であった神護寺の跡地に、近隣の農民たちで組織された愛敬社が育林したのが始まりで、現在は府宮の梅苑になっています。2月中旬から3月中旬にかけて、紅・白・薄紅など約30種400本以上の梅が、約2万平方メートルの斜面に咲き誇り、ハイキングコースにもなっています。桜も見ることができます。※梅林の梅の木は樹木のウイルス感染のため2016年5月に伐採、整備中です。

③姥ヶ池

昔、悪いことだと知りながらも枚岡神社の油を盗む老婆がいました。それが村中に広まり、老婆は池に投身して亡くなってしまいました。それからその池を「姥ヶ池」と呼ぶようになりました。雨の晩になると、この池の近くに青白い火の玉のような物が現れるようになり、俗に「姥火池」と呼ばれました。井原西鶴や鳥山石燕の作品に登場します。

④暗越奈良街道

日本の道100選にも指定されている暗越奈良街道は、奈良時代に平城京と河内・難波を結ぶ最短コースでした。江戸時代には大勢の人がこの道を行き来し、伊勢参りにもこの街道を利用した人が多かったそうです。現在国道308号線の急な坂道なので歩く際はお気を付けください。

⑤野尻伸線所

「伸線」とは針金づくりのことです。大正年間に操業され、現在の工場は操業当時の物で、伸線工場の古い形態を残す歴史的な建物です。現在この工場は、伸銅のほか多品種を少量ずつ生産する事を特色としています。この周辺には、江戸時代や明治時代初期に水車を利用した伸線工場が多くありました。

⑥芭蕉句碑

勸成院には、松尾芭蕉が最後の旅の途中、暗峠を越えた際に詠んだ「菊の香にくらがり登る節句かな」の句碑があります。この句碑は寛政11年(1799)に地元・豊浦の俳人が芭蕉百回忌に建てました。句碑はその後、山津波で一時期行方不明になった時、明治時代に再建されました。それは、少し登ったところにあります。

⑦枚岡公園

昭和13年(1938)に、自然を生かした公園として開設しました。東大阪最大の梅・桜の名所としても有名で、約43.4ヘクタールの公園です。昭和33年(1958)に金剛生駒国定公園の中に、枚岡公園の全地域も国定公園地域に含められました。

⑧重願寺

大阪市内から昭和37年(1962)に現在の場所に移転した浄土宗の寺です。本尊の木造阿弥陀如来座像は藤原時代の特徴を残しています。多宝塔に安置される藤原末期の木造聖観音立像は、近松門左衛門『曾根崎心中 附り観音めぐり』に「十七番に重願寺」と登場します。

⑨夫婦塚古墳(神並5号墳)

東石切町一帯に広がる21基もの神並古墳群のほぼ中心的な古墳で、神並5号墳と呼ばれています。この古墳群は古墳時代後期に造られ、現在7基が残っています。夫婦塚古墳は6世紀中頃に造られた二つの石室を持つ双円墳で、東側の石室から埋葬が始まった事が判明しています。現在東大阪市の指定文化財になっています。

⑩東石切公園

生駒山の麓の住宅街という立地に関らず、広大な芝生のある東石切公園からは大阪平野を一望でき、東大阪市の夜景を見ることができます。

⑪千手寺

真言宗の寺院で、約1300年前に修行していた役行者が神光に導かれ当地に至ると、千手観音が行者の前に姿を現れたので、当地に寺を建て、恵日山千手寺と称したと伝えられています。本尊の千手観音立像が南北朝時代の作品であるほか、府や市指定の仏像・法具が多くあります。

⑫石切参道商店街

近鉄奈良線石切駅から石切劔箭神社まで伸びる参道には、飲食店・日用品から占いなど様々な店舗が顔を揃え、石切神社の門前町として石切神社と共に発展してきました。昔ながらの懐かしいお店が並び、昭和の雰囲気が残る素敵な商店街です。

⑬石切劔箭神社

石切劔箭神社は、物部氏の祖先神を祀っています。祭神は大和建国の任務を受けて天照大神から十種の神宝を授かり、現在の生駒山に降り立ち、大和地方に既に勢力を拡大していた長髓彦を帰服させたと伝えられます。境内は、いつ行ってもお百度を踏む人が絶えません。「でんぼ(腫れ物)の神様」としても有名です。

見晴らしのすばらしいビューポイント

発行 / 東大阪観光協会

作成 / 2010年2月 更新 / 2020年3月

※施設等の情報は変更されている場合がありますのでご了承ください。

東大阪観光振興事業

